

シアン化物イオン及び塩化シアンの検出原因

一般的に、シアンは自然水(井戸水・河川水)中にほとんど含まれる事は無いとされていますが、井戸水からの検出事例が報道(ハム製造業社、養護学校等)されています。



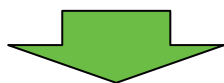
水中のシアン検出には、大きく分けて2通りの原因が考えられています。

①排水の混入(シアン化合物)

化学合成工業、メッキ工業、金属精錬、写真工業、金属熱処理など、シアン含有排水の混入によるもの。

②塩素注入(消毒)によるシアン化物イオン及び塩化シアンの生成

原水中にアンモニウムイオン等の無機前駆体やフミン質のような有機前駆体が存在する中での塩素処理による生成(残留塩素との反応による)。



②のような条件が揃っていると、シアンを使用していない場合でもシアン化物イオン及び塩化シアンが生成され、基準値を超えて検出される可能性があります。

千葉県衛生研究所の研究報告によると、シアンが含まれていない井戸水への塩素(次亜塩素酸ナトリウム)添加実験によって、シアン化物イオン及び塩化シアンが生成されたと報告されています。(平成16年度 調査研究より)

使用水のリスク管理の1つとして、上記のシアン化物イオン及び塩化シアンはもとより、井戸原水中のアンモニア性窒素や有機物(TOC)更には、水道法水質基準として定められている51項目(シアン化物イオン及び塩化シアンを含む)の水質検査を定期的実施してみたいかがでしょうか！

なお、上記項目検出時には、ご要望により、当社の相利共生プロジェクトを介して対策が可能な会社のご紹介もいたします。

お問い合わせは

フリーダイヤル 0120-01-2590

